

## 第3回町田市文化プログラム推進計画策定検討委員会 議事録要旨

<b>日時</b>	2016年12月21日（水）午後6時～8時
<b>会場</b>	町田市役所 10階 会議室 10-4・5
<b>出席者</b>	<p>■委員（敬称略） 三上豊氏、香取幸一氏、米増久樹氏、松香光夫氏、本多浩子氏、高野賢二氏、西田司氏、仕田佳経氏、岡田万里子氏</p> <p>■事務局 文化スポーツ振興部長 田後毅 文化振興課 小田島、清水、寺井、山田</p> <p>■運営支援 株式会社丹青研究所</p>
<b>資料</b>	<p>資料1 町田市文化プログラムの全体像</p> <p>資料2 町田市文化プログラムにより目指す将来像の検討</p>

### 会議内容

#### 1. 開会の挨拶

小田島課長より開会の挨拶および資料説明を行った。

#### 2. 議事

- (1) 町田市文化プログラムの全体像
- (2) 町田市文化プログラムにより目指す将来像の検討
- (3) その他

- (1) および(2)について事務局から説明を行った。

#### ■町田市文化プログラムにより目指す将来像の検討

##### 【検討項目1 文化プログラムの対象となる分野の定義】

委員：文化芸術振興基本法にとられると既存の文化イベントと変わらないのではないかな。

町田市の歴史や芸術文化、一般的な意味でのデザインなどを含めてはどうか。

委員：市民が誇れるような町田市の将来像を念頭に、町田らしい定義を検討する必要がある。

委員：ジャンルを絞る必要があるのではないかな。道路文化という意見もあり、宿場町や街道など町田の資源を活かしてはどうか。

委員：ストリートカルチャーやITの活用などを考えると、分野を広げつつ力点を絞ってはどうか。

委員：町田らしさを表現する必要があるのではないかな。分野を絞り込みつつ、町田ならではの要素を加えてはどうか。カルチャーとして食文化を取り入れるべきか検討が必要と言える。

委員：オリンピックを意識し、スポーツまで広げるか検討する必要がある。

委員：ホストタウンの展開をふまえると、スポーツを加える必要があるのではないかな。

委員：他の分野とのコラボレーションが新たな創造に繋がる。市民参加を念頭に置くと、間口は広くしながらも町田らしさが必要ではないかな。町田市には自然という特徴もあり、多様な発想が可能となるような定義を検討する必要がある。

委員：対象分野を歴史に絞ってはどうか。町田市の経済的な歴史や企業の歴史など、広く町田市を紹介できるとよいのではないかな。

委員：意外性のある分野を取り入れてはどうか。

委員：「文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踏、その他の芸術」に「町田市歴史と生活」を加えて「生活文化や国民娯楽」を内包してはどうか。

委員：「町田市歴史と文化」をメインテーマとし、各ジャンルを対象としてはどうか。

委員：そうすることによりスポーツが含まれるのではないか。

委員：基本法と市の定義が同じ必要はないのではないか。町田市としての文化の解釈を整理すればよいのではないか。若い市民にとっての町田らしさや、生活に根付くという観点を検討してはどうか。

委員：若者を対象とするとアニメーションがある。町田に秋葉原的なイメージをもつ方もいるかもしれない。

委員：国民娯楽の国民という文言や、「文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踏、その他の芸術」の「その他の芸術」というフレーズが気にかかる。若者に向けては「今」というフレーズが入るとよいのでは。

委員：「文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踏、その他の芸術」に、より幅広い人が参加できる文言を加えてはどうか。

委員：子育て世代も意識する必要があるのではないか。

委員：絞り込みすぎる必要はないのではないか。

委員：「文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踏、その他の芸術」と「映画、漫画、アニメーション及びコンピューターその他の電子機器を利用した芸術」が分かれていると、恣意的にとらえられるのではないか。

## 【検討項目2 文化プログラムの対象の呼称】

委員：カタカナ表記をすることについて議論が必要ではないか。文化だけでもよいのではないか。多様で幅広い文化としてはどうか。

委員：ストリートカルチャーを意識するのであればカルチャーの方がイメージしやすいのではないか。高度な印象を持たせると生活文化から離れてしまうのではないか。

委員：個人的にはアーツとすると意味合いが広がるイメージがある。

委員：アーツの方が幅広いが、一般的にはなじみが薄いかもしれない。「文化」では堅いイメージがあるが、「アート」の方が分かりやすいのではないか。

委員：アーツはカルチャーに含まれるのではないか。

委員：「文化芸術」はわかりやすいがハードルが高い印象がある。ここで町田らしさを出せるとよい。

委員：「〇〇の文化」や「町田市文化プログラム」としてもよいのではないか。

委員：文化芸術よりも「文化プログラム」とした方が親しみやすいかもしれない。

委員：食文化やスポーツを内包するのであれば、アートとしてはどうか。

委員：文化芸術という語の全てを単純に別の語で置き換えることはできないのではないか。

## 【検討項目3 将来像の検討】

A. アート&カルチャーのチカラで誰もが輝くまち

B. 創造力を育み、町田市発のアート&カルチャーが輝くまち

C. アート&カルチャーで創造力を育むまち

D. いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも、あらゆるアート&カルチャーを楽しむまち

委員：「町田らしさ」や、「町田ならではの」を将来像案の「アート&カルチャーのチカラで誰もが輝くまち」に加えるには語彙が意味する内容の次元が異なるため、副題として併記してはどうか。

委員：「町田らしさ」は市民には共感しやすい。わかりやすく、ハードルを下げた表現にする必要がある。

委員：文化庁では文化プログラムを文化力プロジェクトと表記していた。力もカタカナ表記ではない方がよい。

委員：キャッチコピーとなるように、もっと練る必要があるのではないか。「超世代」など世代を超えるイメージがあってもよいのではないか。オリンピックをきっかけに文化プログラムを展開することに市民はなじみが薄く、「文化プログラム」という言葉が新鮮だと思う。

委員：文化庁が使っているので「文化力」という文言は使わない方がいいのではないか。

委員：将来像としては町田らしさにこだわらなくてもよいではないか。説明的な表現よりも、ロンドン大会の「アンリミテッド」のように明快に示したほうがよいのではないか。

委員：一言にすると限定されすぎてしまうように思う。A、B、Cは文化プログラムを指しているが、Dは将来を見据えている表現だと思う。

委員：Dがよいと思う。時間的、空間的な要素が含まれており良いのではか。

委員：Dの「いつでも」に「いつまで」も含まれるのももう少し短くしてはどうか。

委員：「どこでも、だれでも、いつまでも」とするということか。

委員：Dがよいと思うが、「楽しむまち」とか「まちを楽しむ」など議論しても良いと思う。

委員：Bがよい。「町田市発」という文言がよいと思う。

委員：「どこでも、だれでも、いつでも、アート&カルチャーを楽しむまち」がよい。BとCを「たのしむまち」に置き換えたり、「町田発」を加えてもよいと思う。

委員：副題として扱ってもよいのではないか。

委員：「町田」という言葉を入れたい。「どこでも、だれでも、いつでも、アート&カルチャーを楽しむまち」はリズムがよい。「いいことふくらむまちだ」は「町田」と「街だ」の2つの意味をかけている。

委員：「どこでも、誰でも、いつでも、アート&カルチャーを楽しむまち」を「まちだ」にしてはどうか。

## ■まとめ

- ・文化プログラムの対象となる分野の定義については、スポーツや食文化など加え、芸術分野だけにとらわれない文言とする。
- ・文化プログラムの対象の呼称は「文化」とし、記載内容により「文化芸術」に調整を図る。

## ■その他

委員：ガイドブックのようなものをつくるなど、市民を刺激する取り組みが必要。

委員：市民参画を呼び掛ける際に、参加人数などを新鮮な方法で示してはどうか。

委員：地域の遺産も掘り起こせば色々あるのではないか。市民に呼びかけて調べてもよいのではないか。

委員：市の無形文化財をあつめた町田市郷土芸能祭りを開催しているおり、町田の特長と言えるのではないか。

委員：「大戸囃子」は東京都功労者表彰を受賞した。